



EVENT 「篠懸ホール」 オープニングセレモニー開催

2024年に開講50周年という大きな節目を迎え、感動的な記念式典・祝賀会が開催されました。「医療人育成共創拠点形成事業」を創設し、宮崎大学基金を通じ将来を担う次世代を支援する施設整備計画の目玉である臨床講義室205教室の改修工事がついに竣工を向かえ、今年6月8日に「篠懸ホール」としてお披露目されました。篠懸ホール入口にて、丸山眞杉同窓会長（1期生）、片岡寛章宮大理事（3期生）、盛武浩医学部長（14期生）がテープカットに臨みました。



篠懸ホールへ移動し、来賓を代表し祝辞を元篠懸会会長の三倉剛先生（2期生）が述べました。記念講演に登壇されたのは、元地域医療学講座教授の長田直人先生（1期生）で西都児湯医療センターで経験された、患者さんに寄り添う医療のため、地域医療は住民と行政と医療従事者の三位一体で成り立つ事、大学に対して医師の派遣要望、学生時代の懐かしいエピソードも交え大変貴重なお話を伺うことができました。また、学生を代表して医学部学生会長の黒木海音さん（4年生）が挨拶をしました。

篠懸ホールは、全体的に白で統一され、明るく清潔感と開放感のある教室に生まれ変わりました。今後の宮崎大学医学部・附属病院の更なる発展となるよう活用されることを期待し、次の50年に向けて新しい歴史の一步を踏み出しました。



長田直人先生



三倉剛先生



黒木海音さん

◇記念講演◇

「宮崎県の地域医療の充実・発展のために
宮崎大学に期待すること
ー地独西都児湯医療センターでの経験をふまえてー」



EVENT スクラブ贈呈



臨床医学科目単位を取得、臨床実習前共用試験（CBT、Pre-CC OSCE）に合格した4年生に対してケーシーを11月に開催される臨床実習生（医学）認定授与式に贈呈していましたが、学生ならびに大学からの意見を取り入れまして、今年度よりスクラブを贈呈することになりました。左袖に医学部のエンブレムと名前が刺繍されており、このスクラブを着用し臨床実習前共用試験を受け、難関を突破しチューデント・ドクターとして診療参加型臨床実習へと進みます。



NEWS 診療日変更を実施



附属病院は、2026年4月から、木曜日を休診にして土曜日を診療日とする診療日変更を実施しております。

【土曜日診療の取り組み方針】

- ・土曜初診枠の設定 ・診療科特有の再診対応
 - ・他医療機関からの当日紹介体制の構築
 - ・土曜入院の積極的活用 ・勤務シフト運用の工夫
- 学生の木曜日実習は、各診療科に委ねられており、レポート作成に充てたり、学外の医療機関での実習が増えています。

NOTICE

同窓会誌「篠懸 37号」

1990年11月に創刊号が発行され、今年度12月に会誌「篠懸 37号」を発行します。支部会やクラス会およびサークルOB/OG会の開催、また、ご意見やご要望がございましたら、是非ご連絡をお願いいたします。メールアドレス→



会費納入のお願い

事業および支援を行うにあたり、運営の基本となっております「年会費 5,000円」について、ご理解とご協力の程よろしく願いいたします。

【会費納入方法】

- ☐ 提携クレジットカード
- ☐ 郵便払込票
- ☐ 銀行口座自動振替



↑ 納入方法 ↑

今後の行事予定

- 令和8年6月16日 令和8年度代議員会
- 令和8年6月 スクラブ贈呈
- 令和8年9月12日 講演会・懇親会
- 令和8年12月 同窓会誌「篠懸 37号」発行
- 令和9年2月 第121回 医師国家試験
- 令和9年3月 代議員選挙